

平成16年度普通会計決算統計の概要について

< 決算規模 >

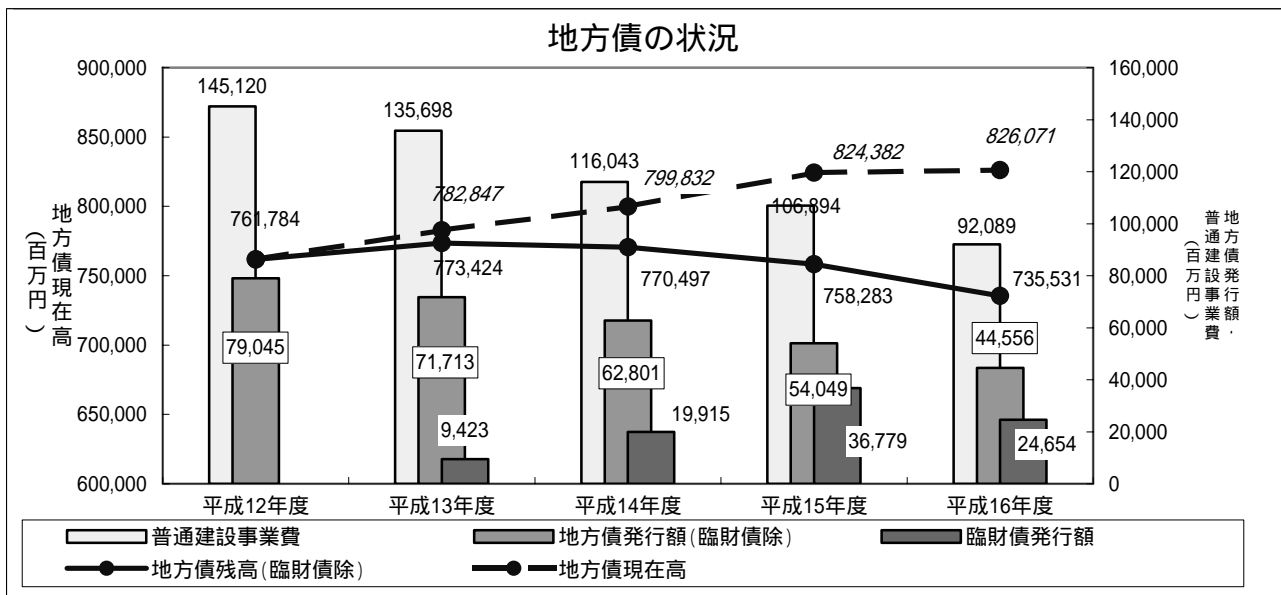
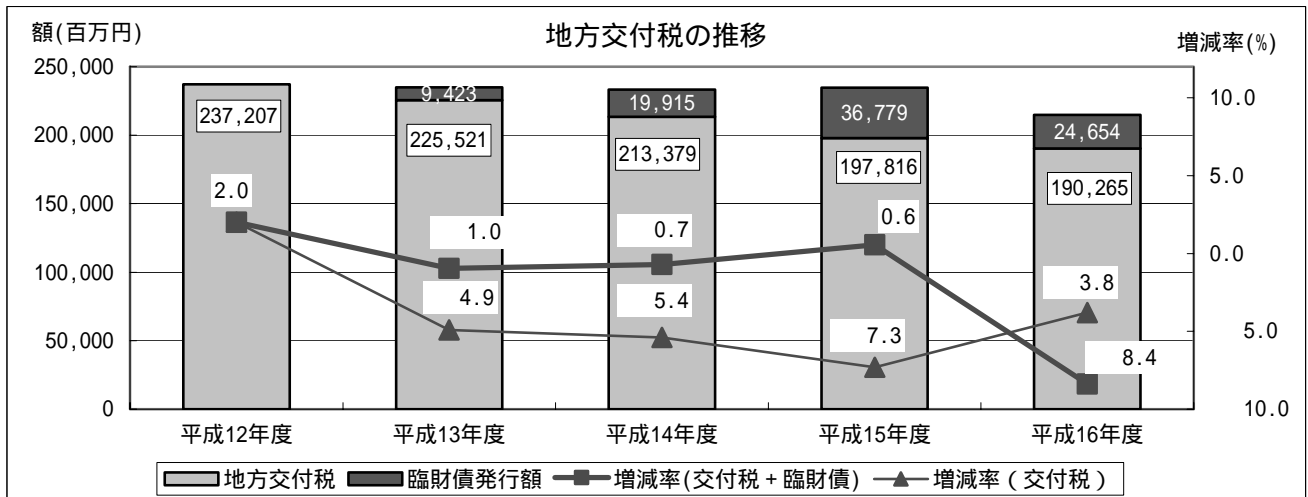
平成16年度決算規模は、歳入6,089億円、歳出6,091億円であり、歳入歳出とも平成12年度以降5年連続で前年度を下回っており、特に歳入の減少率は過去最大となっている。

決算規模としては、平成6年度（歳入6,267億円、歳出6,168億円）とおおよそ同水準である。

区分	平成11年度		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		
	歳入	増減率	歳入	増減率	歳入	増減率	歳入	増減率	歳入	増減率	歳入	増減率	
市計	歳入	375,078	5.8	367,110	2.1	366,060	0.3	356,939	2.5	353,211	1.0	381,964	8.1
	歳出	371,824	6.8	363,025	2.4	362,644	0.1	355,364	2.0	351,426	1.1	385,552	9.7
町村計	歳入	329,428	1.5	310,104	5.9	298,057	3.9	292,276	1.9	284,124	2.8	226,914	20.1
	歳出	322,739	2.1	304,182	5.7	292,186	3.9	287,212	1.7	279,550	2.7	223,523	20.0
市町村計	歳入	704,506	3.8	677,214	3.9	664,117	1.9	649,215	2.2	637,335	1.8	608,878	4.5
	歳出	694,563	4.6	667,207	3.9	654,830	1.9	642,576	1.9	630,976	1.8	609,075	3.5

< 歳入 >

地方税が5年連続減収となったほか、地方交付税+臨財債が大幅減少（対前年度197億円；8.4%）となったことにより財政状況が一層悪化。また、普通建設事業の抑制にともない地方債も減少（臨財債除 対前年度95億円；17.6%）している。



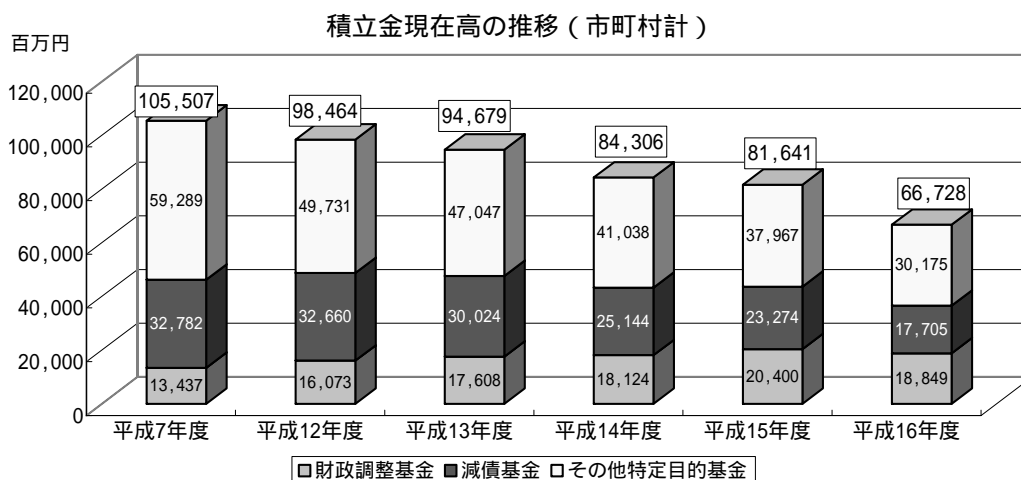
< 歳出 >

義務的経費では、行政改革等により人件費を抑制（対前年度 18 億円； 1.7%）している一方で、生活保護費等の増により扶助費が増加（対前年度 51 億円増； 6.1%増）し、義務的経費全体として増加（対前年度比 35 億円増； 1.3%増）している。

投資的経費では、普通建設事業の抑制基調（対前年度 148 億円； 13.9%）が依然として続いており、投資的経費全体としても減少（対前年度 174 億； 15.8%）している。

< 基金 >

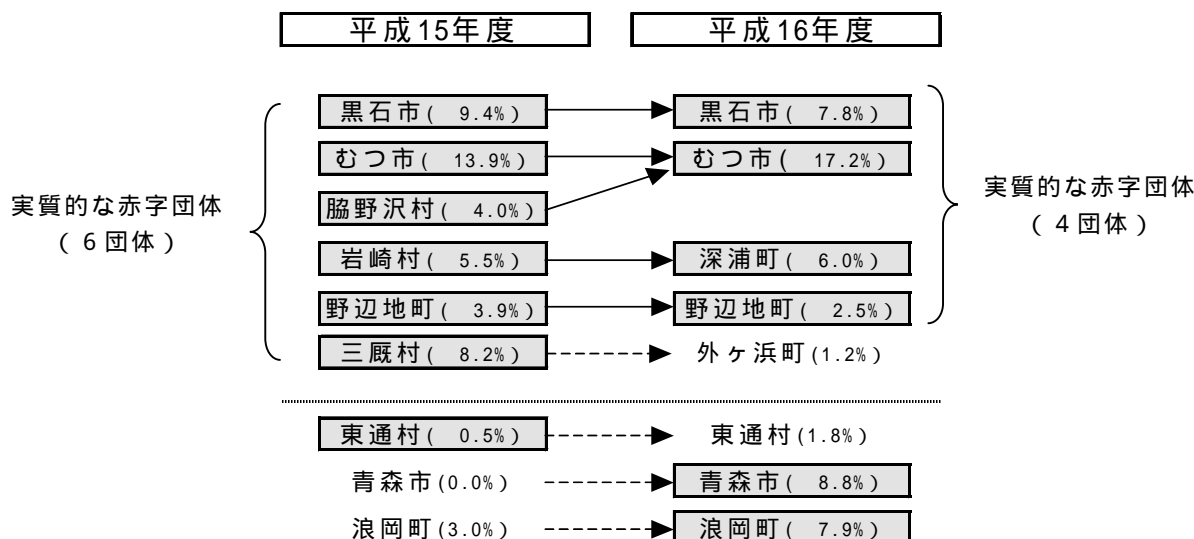
財源不足のため、基金の取り崩しが進んだ結果（対前年度 149 億円； 18.3%）、平成 16 年度末残高は 667 億円まで落ちこんだ。これは、平成元年度（604 億円）とおおよそ同水準である。



< 赤字団体 >

実質的な赤字団体数は、赤字団体が合併したことにより 2 団体減少（ 6 団体 4 団体）している。

なお、決算統計上の取扱いから平成 15 年度において赤字が生じた東通村、及び平成 17 年 4 月 1 日合併したことに伴い、平成 16 年度において打切り決算を行った旧青森市及び旧浪岡町を含めると、赤字団体は平成 15 年度 7 団体、平成 16 年度 6 団体となる。



カッコ内は実質収支比率